

東海地域経済懇談会へ参加

～名張商工会議所 亀井会頭が三重県連代表として問題提起～

東海商工会議所連合会、（一社）日本経済団体連合会、（一社）中部経済連合会の共催により、令和6年2月8日（木）『官民連携でデフレから完全脱却し、「成長と分配の好循環」を実現する』をテーマに、名古屋観光ホテルにて東海地域経済懇談会が開催され、三重県商工会議所連合会からは、伊藤会長及び専務理事、各商工会議所 会頭5名、専務理事8名が参加しました。

懇談会冒頭では、東海商工会議所連合会 嶋尾会長から開会挨拶があり、続いて、日本経済団体連合会（経団連） 十倉会長から挨拶がありました。

懇談会は「テーマ1 活力ある地域づくり」と「テーマ2 産業競争力の強化」について、それぞれ問題提起と意見交換が行われ、三重県連を代表して名張商工会議所 亀井会頭がテーマ1について、人口減少対策を問題提起しました。



▲ 懇談会の様子

亀井会頭は、名張市の人口減少や急速な高齢化について発言され、また人口減少が地域社会や経済に与える影響について発言されました。このような中、経済団体としての人口減少への対応について、3つのポイント（自然減対策・社会減対策・外国人受入れ対策）を挙げられ、最後に人口問題は大都市の問題でもあり、地方、大都市にかかわらず国全体で取り組むべき最大の課題と発言されました。

その後、意見交換として経団連 副会長から「地域経済・社会の活性化」、「農業の成長産業化に向けて」、「持続可能でレジリエントな観光への革新」、「社会基盤の強化に向けて」等について発言があり、経団連 富田 審議員会議長がテーマ1、2について総括を行った後、中部経済連合会 水野会長が閉会挨拶を行い、懇談会は閉会しました。